

福井県知事 杉本 達治 様

2023年10月13日

《オール福井反原発連絡会》
原子力発電に反対する福井県民会議
福井から原発を止める裁判の会
サヨナラ原発福井ネットワーク
原発住民運動福井・嶺南センター
原発問題住民運動福井連絡会
福井の老朽原発訴訟の会
事務局 林 広員 (090-8263-6104)

関西電力が示した「使用済燃料対策ロードマップ」を拙速に受け入れず、県民説明会を開催するなど県民の声を聞いて判断するよう求める申し入れ

日頃は、福井県の行政、並びに原子力行政へのご尽力に対して敬意を表します。

さて、報道によれば、杉本知事は本日13日、西村康稔経済産業大臣と関西電力（以下、関電）の森望社長と敦賀市で会談。それぞれから考え方を聞いた上で県としての判断を伝えるといたします。

これに先立ち、関電と国は10日、県に対して使用済み核燃料の搬出の工程表（ロードマップ）を示し、青森県六ヶ所村の再処理工場の2024年の完成に向けて、審査が円滑に進むように取り組むことや、フランスへのMOX使用済燃料の搬出を2027年度から始めることなどを説明。さらに、中間貯蔵施設への搬出に向けて原発の敷地内に使用済燃料を一時保管する「乾式貯蔵施設」の設置を検討すると説明しました。これを受けて杉本知事は、「一定の回答があった」と述べていました。

しかし、こうした報道について県民からは、「ロードマップどおりに進むか不透明だ」「乾式貯蔵は、中間貯蔵施設と同義で、最終処分地になりかねない」「説明が不十分で、これで承認はあり得ない」、などなどの不安や疑念の声が多くあります。

ついては、以下の点について申し入れを行います。

<申し入れ項目>

- (1) 「使用済燃料対策ロードマップ」について、県民の不安、疑念を解消するために、県民説明会を開催し、その上で知事として判断するよう申し入れます。
- (2) 2021年、関電は県に「2023年末までに中間貯蔵施設の県外候補地を確定させる。できなければ高浜原発1、2号機と美浜原発3号機は運転しない」と約束しており、杉本知事は約束を守るよう、国と関電に求めるよう申し入れます。

以上